国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行（No.60）

2012年
7月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

CONTENTS

Mini-WANとは
港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

最近のトピックス

★三河港関連事業等説明会が開催されました
★わくわく体験塾が開催されました
★衣浦港で浚渫工事を行いました
★コンテナターミナル見学と船上セミナーが開催されました

お知らせ

★みなとフェスティバル開催！
　清龍丸の一般公開も行います

最近のトピックス

★三河港関連事業等説明会が開催されました

６月28日、ライフポートとよはしで、三河港振興会・東三河懇話会の主催による「三河港関連事業計画等説明会」が開催されました。この説明会は、国・県の担当事務所が事業の進捗状況等を報告するもので毎年開催されております。

当日は、愛知県三河港務所長、愛知県三河港工事事務所長、そして当事務所の宮田所長が講師として参加しました。

宮田所長は、平成24年度の事業概要と、平成23年度に開催した「三河港地震・津波対策検討会議」について紹介しました。

平成24年度の事業概要については、「神野地区国際物流ターミナル整備事業」について説明しました。この事業はコンテナ貨物の需要増加への対応を図るとともに、施設利用再編によって、完成自動車の需要増にも対応することを目的として実施しています。

事業説明をする宮田所長

また「三河港地震・津波対策検討会議」については同会議で承認を得た基本方針及び、その具体化に向けての説明を行いました。基本方針では、地震・津波の発生頻度や規模に応じた対策をとることとしており、発生頻度が高い津波に対しては、できるだけ構造物で人命・財産を守りきる「防災」を目指し、発生頻度は極めて低いが影響が甚大な最大クラスの津波に対しては、最低限人命を守るという目標のもとに被害をできるだけ小さくする「減災」を目指すこととしています。

三河港地震・津波対策検討会議の資料は、下記URLで公開しておりますので、興味のある方はご覧ください。http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/topics/jisintunamikaigi.html

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル
大いに　良くなれ　みなと
0120-497-370
※受付時間：9:30～12:00と13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）
全国どこからでも、この電話番号で「海とみなとの相談窓口」につながります。

国土交通省　中部地方整備局
三河港湾事務所
〒441-8075　愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL0532-32-3251　FAX0532-32-5049
衣浦港事務所
〒475-0831　愛知県半田市11号地2番地
TEL0569-21-2311　FAX0569-21-23112

★わくわく体験塾が開催されました

「しおさい」に乗船して三河港を見学

６月１６日、豊橋市のカモメリアで、豊橋市青少年センター主催による、「わくわく体験塾～三河港を学ぶ～」が開催されました。これは、豊橋市の青少年育成事業の一環で、自分たちに身近な港である三河港を、陸と海から見学することにより、みなとの役割についてより深く知ってもらおうとする取り組みです。

当日は、豊橋市内の小学校４年生から６年生までの児童と、その保護者合わせて７名が参加しました。まず、カモメリアで、三河港について紹介するビデオを鑑賞し、展望室から三河港を見学。その後、当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船し、海からの三河港を見学しました。初めて船に乗る児童もおり、海上から間近で見る自動車運搬船の大きさや航行する船舶等を眺めて歓喜していました。また、防波堤や航路の役割についての説明があると熱心に耳を傾けていました。今回の体験が、児童達にとって、みなとについて興味を持ってもらえる、よい機会になったと感じました。

★衣浦港で浚渫工事を行いました

衣浦臨海部の工業用地では、窯業関連企業、食品関連企業、化学工業関連企業、その他、発電所や製鉄所などの基幹産業が集積しており、さらなる高度産業拠点として期待されています。そのため物流機能の充実が求められています。こうした物流機能の充実や船舶の大型化に対応するため、武豊北ふ頭地区に岸壁の築造や航路泊地の浚渫（海底を掘削して水深を深くすること）を行い、多目的国際ターミナルの整備をしています。

多目的国際ﾀｰﾐﾅﾙ整備の計画区域　今回の浚渫箇所

浚渫を行うグラブ浚渫船

平成１９年度に航路幅200m、水深−12mによる暫定供用を開始し、引き続き航路幅300mへの拡幅整備を実施中です。

今年度の工事では、グラブ浚渫船を使用して、約９，０００m3（10tダンプで約１，５００台分）の浚渫を行いました。浚渫で発生した土砂は、衣浦港の入口にある埋立地に投入され、埋立地の造成に活用されます。

★コンテナターミナル見学と船上セミナーが開催されました

６月７日、豊橋市産業部主催による「コンテナターミナル見学と船上セミナー」が開催されました。

この見学会は、多くの市民の方々が港に訪れ、港への関心と親しみを深めてもらうことを目的とした「みなとふれあい体験事業」として、毎年開催されています。 当日は１３人の方々が参加し、まずカモメリアにて三河港の概要について説明を受けた後、当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船し、船上から三河港を見学しました。参加者の方々は、航路や防波堤についての質問をされたり、興味深そうに海を眺めてました。参加者の中には、以前、港内で船員として働いていた方もみえ、港の変化に驚くとともに、海から見た三河港の風景を懐かしんでおられました。
今回の見学会を通して、三河港をより身近に感じて頂けるようになったと思います。

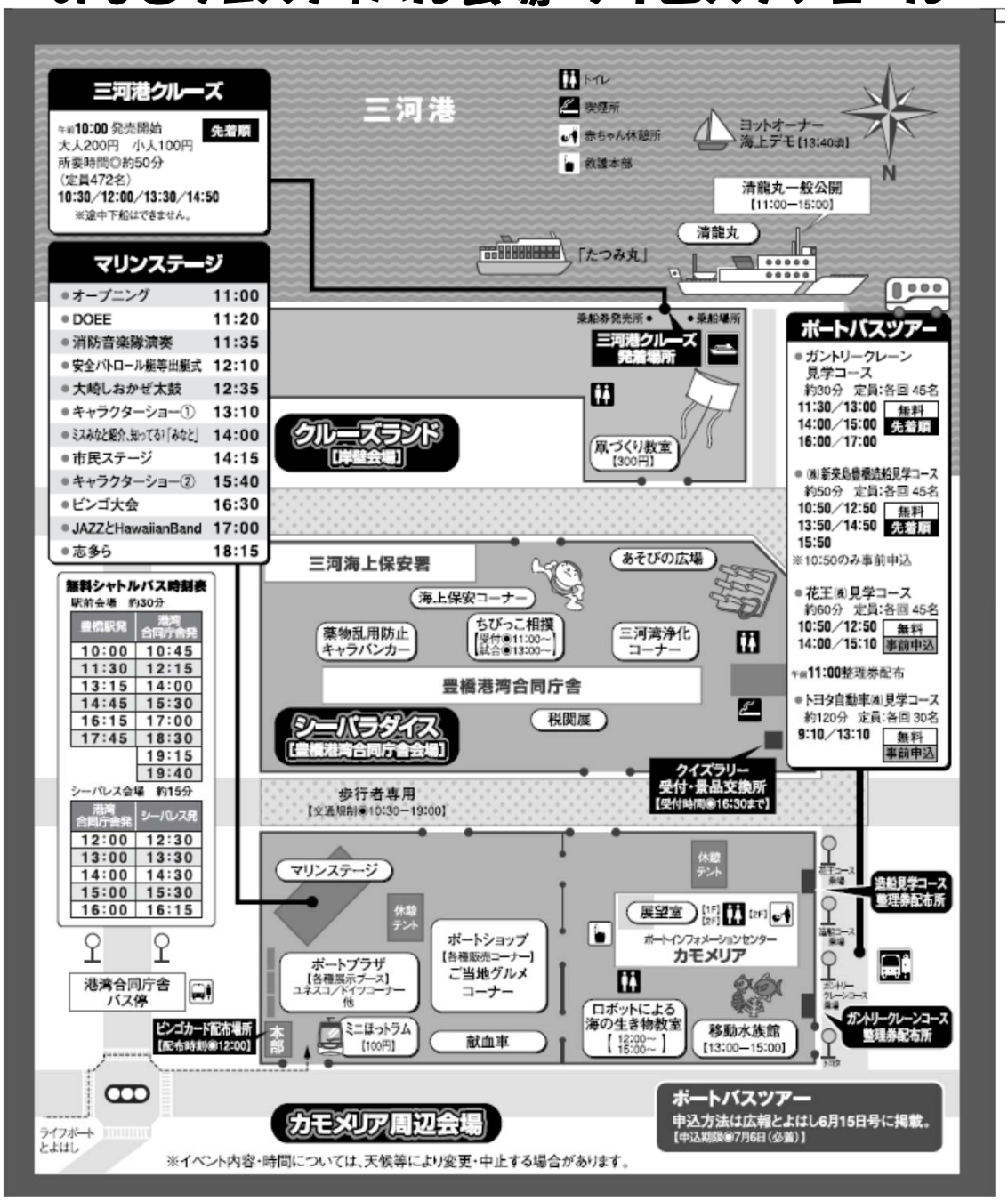
質問される見学者の方々

お 知 ら せ！

毎年恒例の「とよはしみなとフェスティバル」を開催いたします。みなとフェスティバルは、豊橋みなとフェスティバル実行委員会の主催で、豊橋駅前及び神野地区周辺を会場として行われており、今年で39回目となります。このイベントは、市民の皆様にみなとを身近に感じてもらうことを目的とし、海の日に開催されています。今年は、中部地方整備局の浚渫兼油回収船「清龍丸」も一般公開いたします。

イベントの内容は下記に掲載させていただきます。ご興味のある方は、是非、ご参加ください。

みなとフェスティバル会場・タイムスケジュール



～清龍丸について～

清龍丸は、普段は名古屋港で航路の浚渫（しゅんせつ）作業を行っていますが、大量油流出事故時における油回収機能、災害時における防災機能をあわせもった「浚渫兼油回収船」です。

防災機能としては、災害時に災害対策本部が設置されることを想定し、災害時において迅速に災害復旧を図るために的確な情報が収集できるように、ヘリコプターデッキや情報収集システムが搭載されております。東日本大震災時における災害支援も物資運搬や給水活動を行いました。

詳しくは、http://www.nagoya.pa.cbr.mlit.go.jp/torikumi/safe_seiryu.html　にてご覧いただけます。